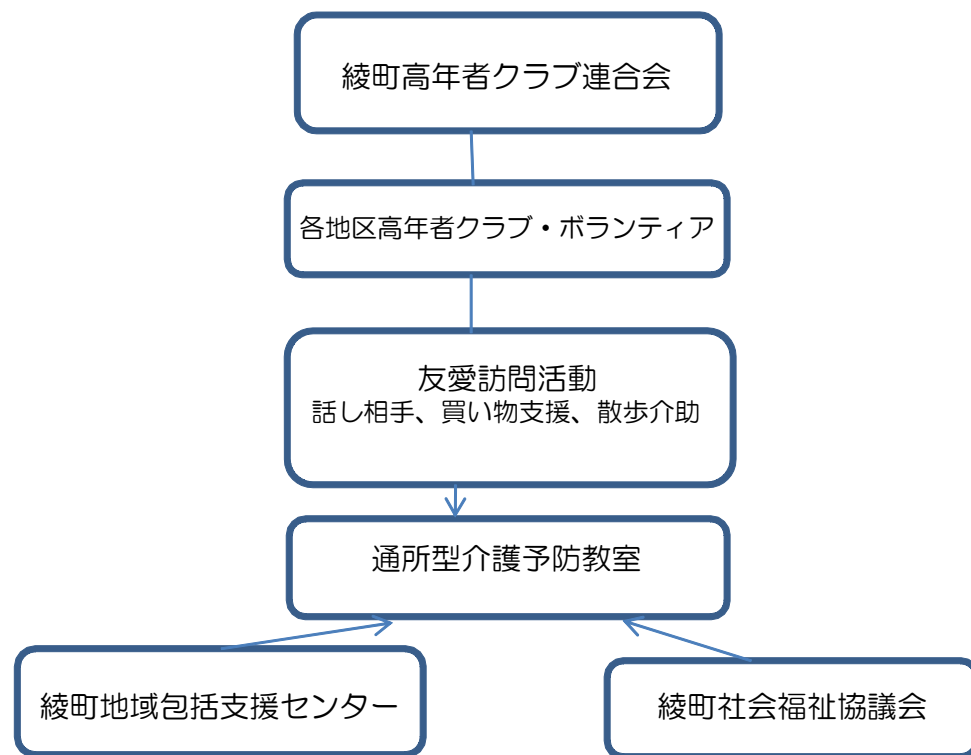


高年者クラブボランティアによる閉じこもり予防と介護予防支援

○高年者クラブ会員で「友愛訪問」活動を行っていたボランティアが研修と受け、地区内の一人暮らしを地区公民館で実施している介護予防教室に誘い出し、教室では会場設営や進行などの支援をする。

○平成11年度より実施し、平成24年4月現在、84名が18地区で活動中





地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①□区町村名	綾町
②人口（※１）	7,224 人 ()
③高齢化率（※１） (65 歳以上、75 歳以上それぞれについて記載)	65 歳以上・・・29.0% () 75 歳以上・・・15.6%
① 取組の概要	閉じこもりがちな高齢者に対し、訪問して話し相手になるなどの活動（友愛訪問）をしている高年者クラブの協力を得て開設。体操、ゲームや手芸、おしゃべりで脳を活性化させ、認知症やうつを予防することを目的としている。 また、看護師が健康相談を受け、包括支援センターにつなぐ場としても機能している。
⑤取組の特徴	町の介護予防事業と社会福祉協議会のサロン事業として実施しているが、スタッフに高年者クラブのシルバーボランティア（友愛訪問）を入れたことで、現在は高齢者クラブの活動の中心となっている。 また、転入者に参加を促すことで、地区にとけ込み易くしている。
⑥開始年度	平成 11 年
⑦取組のこれまでの経緯	平成 10 年度の老人保健健康増進等事業の補助事業として、認知症高齢者の少ない地域作りを目指して開始し、その後に町単独事業として開催地区を全地区に広げる。
⑧主な利用者と人数	後期高齢者 実人数：354 人 延べ人数：2,536 人
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	実施主体：綾町役場 関連団体等：綾町社会福祉協議会、綾町地域包括支援センター 綾町高年者クラブ連合
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	4,353,000 円
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	無
⑫取組の課題	スタッフ及びボランティアの確保
⑬今後の取組予定	継続実施
⑭その他	ボランティアは年１回、介護予防等の研修を受講している。
⑮担当部署及び連絡先	福祉保健課 ０９８５－７７－０１９５

※１ 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※２ 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※３ 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。





お達者クラブ開催要綱

1. 目的・特徴

閉じこもりがちな高齢者に対し、訪問して話し相手になるなどの活動（友愛訪問）を行っている高年者クラブの協力を得て、地区公民館において開設。ゲームや手芸、おしゃべり等で脳活性化させ、認知症やうつを予防することを目的としている。

また、担当スタッフが相談を受け、包括支援センター（介護相談）につなぐ場としても機能し、地域で高齢者を支援する体制の中心となっている。

2. スタッフ及び連携体制

高年者クラブ（シルバーボランティア）

社会福祉協議会（サロン指導員）

健康センター（健康相談員）

高年者クラブ連合会への情報提供、シルバーボランティアの研修会等により、目的達成のため連携した活動をしている。

3. 事業の予算

特別会計介護保険・介護予防事業（講師謝金、運動等の備品、消耗品費等）

社会福祉協議会・サロン事業（食料費、光熱費、消耗品費等）

4. 活動のポイント

① 人の輪に入り雰囲気になじむことから孤独感の解消となる。

（転入者にも声掛けを！）

② 話を聞いてもらえる仲間がいるという安心感を提供する。

（傾聴、共感が大事！）

③ 笑いのある場は脳や身体を活性化する。

（ゲームや会話で思い切り笑う！）

④ 協力するボランティアは無理をしないで、焦らず、継続を目指す。

（参加できない時もあるけど・・・会員の皆さん応援よろしく！）

日程や内容の変更などの連絡先は

綾町社会福祉協議会（電話：77-3066）の佐藤へお願いします。

不在の場合は吉川、横山がお受けします。

